

4 月 13 日：利益確定売りに押されるもベトナム株は上昇

月曜日のベトナム株は利益確定売りで上昇幅を縮めたが、プラス圏で取引を終えた。小売り、金融、エネルギーなどが上昇し市場を牽引した。

ホーチミン取引所の VN 指数は 1.04% 上昇し 765.79 ポイントで取引を終えた。取引時間中には 2.2% ほど上昇する場面があった。

VN 指数は先週合計で 8% ほど上昇していた。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.92% 上昇し 107.16 ポイントで取引を終えた。4 月 1 日から 8 営業日連続の上昇で 15.7% ほど上昇した。

出来高は 2 億 7700 万株で取引を終えた。売買代金にして 4.76 兆ドンであった。相対取引では 2 億 3600 万株、3.44 兆ドンであった。

大型株が市場を押し上げ、VN30 指数は 1.53% 高の 706.37 ポイントで取引を終えた。しかしすべての銘柄が上昇したわけではなかった。

VN30 採用銘柄のうちの 21 銘柄が上昇、5 銘柄が下落、残りの 4 銘柄は変わらずであった。

下落したのは、マッサングループ (MSN)、SSI 証券 (SSI)、ペトロリメックス (PLX)、FLC ファロス建設 (ROS)、ビナミルク (VNM) の 5 社であった。

MSN は 3.5% 安、直近 7 営業日で 23% 上昇していたため利益確定売りに押される展開となった。

SSI は 1.1% 安、3 月 31 日から 34.2% 上昇後、初めての下落となった。

一方、PLX は 1% 安、VNM は 0.5% 安となった。

VP バンク (VPB)、ビンコムリテール (VRE)、ベトジェット航空 (VJC)、モバイルワールドインベストメント (MWG)、テクコムバンク (TCB)、軍隊商業銀行 (MBB) が相場を大きく押し上げた。

原油価格の上昇によって、ペトロベトナムガス（GAS）、ペトロベトナムドリリング（PVD）はそれぞれ 1.3%、6.1%上昇した。

月曜日に上昇を継続したが、流動性の減少は投資家が 770 ポイントに近づくと警戒感が高まっているということを示しているとサイゴンハノイ証券は語った。

外国人投資家は売り越し、懸念が残ると同社は述べた。

直近 13 営業日で 11 日上昇しているため、テクニカル指標は調整の可能性を示唆していると同社は予想した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。